



第5回 アメリカンフットボール U-19 世界選手権
2018 メキシコ大会
報告書



公益社団法人
日本アメリカンフットボール協会



第5回 アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会（報告）

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF: International Federation of American Football）が主催する「第5回 U-19 世界選手権大会」は、2018年7月14日（土）～7月22日（日）、メキシコ合衆国メキシコシティで開催された。

◆対戦フォーマットカード



7月14日

GAME1 カナダ（1位） vs スウェーデン（6位）

GAME2 日本（4位） vs メキシコ（3位）

GAME3 オーストラリア（5位） vs アメリカ（2位）

7月18日

GAME4 オーストラリア（5位） vs スウェーデン（6位）

GAME5 カナダ（1位） vs 日本とメキシコ敗者

GAME6 アメリカ（2位） vs 日本とメキシコ勝者

7月22日

GAME7 5位決定戦 GAME4 敗者 vs GAME5 敗者

GAME8 3位決定戦 GAME4 勝者 vs GAME6 勝者

GAME9 優勝決定戦 GAME6 勝者 vs GAME5 勝者

今大会はカナダ（ランク1位）・アメリカ（ランク2位）・メキシコ（ランク3位）・日本（ランク4位）・オーストラリア（ランク5位）・スウェーデン（ランク6位）の6カ国が参加し上記日程の通り対戦相手が決定された。

日本代表チームは、14日にメキシコ代表チームと対戦し14-31で敗戦となり、18日（水）に前回大会で優勝したカナダ代表チームと対戦し、ラスト2分で6点差まで迫ったものの22-28で敗退。2連敗したことにより、5位決定戦へ進まるを得なくなり、オーストラリア代表チームには、51-14で快勝し5位という結果になった。

◇ 7月14日（土）

Game1 アメリカ 38 × 0 オーストラリア

Game2 メキシコ 31 × 14 日 本

Game3 カナダ 49 × 6 スウェーデン

◇ 7月18日（水）

Game4 オーストラリア 6× 19 スウェーデン

Game5 カナダ 28 × 22 日 本

Game6 アメリカ 6 × 33 メキシコ

◇ 7月22日（日） 順位決定戦

Game7 日本 51 × 14 オーストラリア 5位 決定戦

Game8 アメリカ 61 × 9 スウェーデン 3位 決定戦

Game9 カナダ 6 × 13 メキシコ 優勝 決定戦

【最終順位】

優勝：カナダ、準優勝：メキシコ、3位：アメリカ、4位：スウェーデン、5位：日本、6位：オーストラリア

試合結果

【U-19 日本代表チームの試合結果】

第1試合（7月14日）

| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | Total |
|------------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 日本代表（4位） | 0 | 6 | 8 | 0 | 14 |
| メキシコ代表（3位） | 3 | 0 | 14 | 14 | 31 |

第2試合（7月18日）

| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | Total |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 日本代表（4位） | 7 | 0 | 8 | 7 | 22 |
| カナダ代表（1位） | 7 | 14 | 7 | 0 | 28 |

5位決定戦（7月22日）

| 順位戦 | 5位決定戦 | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | Total |
|---------------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 日本代表（4位） | | 10 | 13 | 14 | 14 | 51 |
| オーストラリア代表（5位） | | 0 | 0 | 14 | 0 | 14 |



GAME REPORT

【第1試合】

— U-19 メキシコに敗れて初戦落とす —

現地時間7月14日（土）※日本時間15日、メキシコ合衆国メキシコシティーで開催されている第5回 IFAFアメリカンフットボールU-19世界選手権大会が行われ、U-19日本代表がU-19メキシコ代表と対戦し、14対31のスコアで敗れました。敗れたU-19日本代表は現地時間18日に、前回王者で2度の優勝を誇るU-19カナダ代表と対戦します。

なお、この試合のU-19日本代表ゲームMVPには、TE水谷蓮（高槻高校3年）が選ばれました。

この日行われた他の試合では、U-19アメリカ代表がU-19オーストラリア代表を38対0で、U-19カナダ代表がU-19スウェーデン代表を49対6でそれぞれ下している。

| 現地時間 7月 14 日(土) 13 時 00 分キックオフ | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | TOTAL |
|-----------------------------------|----|----|----|----|-------|
| 日本代表 | 0 | 6 | 8 | 0 | 14 |
| メキシコ代表 | 3 | 0 | 14 | 14 | 31 |

ゲームサマリー

日本のレシーブで始まったこの日の試合、日本は自陣20 ヤードから始まった最初のドライブで、QB 平尾 渉太（関西学院大学1年）がいきなりサックを浴びるなどスリーアンドアウトに終わる厳しいスタートとなった。続くメキシコ陣46ヤードからのメキシコの攻撃では、ファーストダウンを3 回更新されてゴール前8ヤードまで進まれた。それでも3 度の攻撃をノーゲインに抑え、フィールドゴールに留めた。

先制を許した日本は、自陣27ヤードからの攻撃でランとパスを絡めて着実に前進して敵陣へ侵入した。その後反則やサックなどで後退するも平尾の14ヤードランで第4ダウン1 ヤード。Qが代わった最初のプレーでフォースダウンギャンブルを試みるが失敗となり、このシリーズでは逆転することができなかった。

その後の攻撃では、お互いに得点できず。日本は、自陣27ヤードの第3ダウン8ヤードの場面、メキシコのパス攻撃で一気にエンドゾーンまでボールを運ばれたが、メキシコの反則でタッチダウンが取り消しとなった。結局、メキシコはフィールドゴールを狙ったが失敗に終わり、攻撃権は日本へ移動した。自陣22ヤードから攻撃をスタートさせた日本は、QB 平尾がWR 嘉本 健太郎（明治大学2年）、TE 水谷 蓮（高槻高校3年）へ25ヤード、16ヤードのパスを通すなど攻撃が機能して敵陣26ヤードへボールを進めた。そして、この好機にQB 平尾がランプレーと見せかけ、左サイドを走っていたTE水谷へのタッチダウンパスを通した。その後のPATが失敗に終わった日本だったが、6 対 3で前半を折り返した。

しかし、後半キックでスタートした日本は、26ヤードパス、56ヤードランの2プレーで試合をひっくり返された。その後日本は2度の攻撃権を得点につなげられず、逆にメキシコにタッチダウンを許し、6 対17と11点差に広げられた。

それでも日本は、自陣35 ヤードから始まった攻撃で2 本のロングパスを成功させて敵陣14ヤードまで侵入。すると、RB 柴田 健人（日本大学1年）の14 ヤードランが決まり12 対17。さらに2点コンバ-

ジョンも成功で3点差に詰め寄った。

そして、勝負の第4Q。自陣41ヤードから始まった日本の攻撃、第4ダウン1ヤードの場面でフォースダウンギャンブルを選択するも失敗に終わった。ここで攻撃権を失った日本は、メキシコにタッチダウンを奪われ、得点が14対24に変わった。続く攻撃をスリーアンドアウトに抑えられた日本は、メキシコの攻撃を止められずに失点。タッチダウンを決められ、リードを17点に広げられた。後がなくなった日本は、自陣20ヤードからの攻撃で敵陣まで攻め込んだが、最後はフォースダウンギャンブルが失敗に終わり、万事休した。

■メキシコ戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19日本代表 山㟢 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）



--今日の試合を振り返ってどうだったのか？

ディフェンスはアサイメント云々ではなくタックルが出来ない。オフェンスは第4ダウンギャンブル、2回とも裏をかいたりせず正面から行ったが力で止められた。それが敗因、今日はブロックとタックルの差、要は弱い。相手が強かった。

--QB 野沢がでてきて、ポンポンとパスを決めて3プレーでTDをとった、あのプレーはチェンジアップとしての狙いか

オフェンスは大村コーチに任せているので判らない。

--今日のゲームの印象と、怪我人など出でていないか。

そんなに大きな怪我は出でていない。フットボールの基本はブロックとタックル。その両方が出来なかつたので完全に力負けした、完敗だった。

--事前にスカウティングしたのか、その印象。ハーフタイムにどんなアジャストしたのか、2ポイントコンバージョンは用意していたのか。

前回ハルビン大会のビデオをみて研究した。ハーフタイムで話した事は、後半の勝負になる事は判っていたので、ディフェンスはいくら出されても諦めないで頑張ろうと伝えた。

日本代表MVP TE水谷 蓼選手（高槻高校3年）



--今日の感想、チームメイトに言いたい事、相手チームに言いたい事。

今回代表で参加して、海外のコーチにも自分のプレーを見てもらいたいと思っていた。その意味でMVPはとても嬉しい。しかしアメリカンフットボールはチームスポーツ、チームが勝てていないので、後の2試合を絶対に勝って日本のフットボールを世界にアピールしたい。

--TD（PATで）についてはどう思ったか

同じプレーを練習でしたときに球を落としていた。試合でこのプレーがコールされた時、絶対にTDをとってやると思っていた。実際のプレーも良い形になり決める事が出来た。11人で取ったTDだと思う。自身も嬉しかったし興奮した。

--今日の観客の反応、ファンの声援、スタジアムの環境などはどうだったか。

入場の時メキシコチームへの声援がとても大きくて圧倒された。後半くらいから日本への声援も聞こえて来て、もっと頑張ってやろうという気持ちになれた。

■主なスタッツ

| 得点経過 | | | | | |
|------|-------|-----|-------|---|--|
| 1st | 5:47 | MEX | 0-3 | #8 25yd FG | |
| 2nd | 10:45 | JPN | 3-6 | #92 水谷 26yd Pass from #11 平尾 (#78 築瀬 kick Good) | |
| 3rd | 0:25 | MEX | 10-6 | #3 56yd Run (#8 kick Good) | |
| 3rd | 9:35 | MEX | 17-6 | #20 3yd Pass from #3 (#8 kick Good) | |
| 3rd | 10:50 | JPN | 17-14 | #1 柴田 4yd Run (#92 水谷 Pass from #6 野沢) | |
| 4th | 4:17 | MEX | 24-14 | #38 4yd Run (#8 kick Good) | |
| 4th | 8:02 | MEX | 31-14 | #12 14yd Pass (#8 kick Good) | |

| 日本 | チーム成績 | メキシコ |
|---------|--------------------|---------|
| 52-308 | オフェンス回数-総獲得ヤード数 | 63-392 |
| 29-111 | ラン回数-獲得ヤード数 | 38-255 |
| 197 | パス獲得ヤード数 | 137 |
| 23-14-1 | パス回数-成功回数-被インターセプト | 25-15-1 |
| 14 | ファーストダウン回数 | 16 |
| 4-30 | ペナルティ回数-喪失ヤード数 | 8-82 |
| 0-0 | ファンブル回数-喪失回数 | 0-0 |



山崎監督のコメントにもあるようにタックルが決まらなかったのが敗因



高校3年生ながら、日本代表チームのMVPに輝いた、#92 水谷 蓮選手（高槻高校3年）

| 日本 主な個人成績 | | | | | |
|----------------|---------|-------|----------|----------|------|
| 選手名 | パス試投-成功 | 獲得ヤード | TD | インターチェプト | 被サック |
| 平尾 渉太 (関西学院大) | 17-12 | 146 | 1 | 1 | 4 |
| 野沢 研 (立命館大) | 5-2 | 51 | 0 | 0 | 0 |
| 選手名 | ラン回数 | 獲得ヤード | TD | 1回平均 | |
| 平尾 渉太 (関西学院大) | 13 | 49 | 0 | 3.8 | |
| 小田賀優介 (法政大) | 6 | 29 | 0 | 4.8 | |
| 柴田 健人 (日本大) | 5 | 30 | 1 | 6.0 | |
| 西山 雄大 (日本大) | 4 | 4 | 0 | 1.0 | |
| 選手名 | レシーブ回数 | 獲得ヤード | TD | 1回平均 | |
| 糸川 幹人 (箕面自由学園) | 2 | 48 | 0 | 24.0 | |
| 水谷 蓼 (高槻高) | 3 | 42 | 1 | 14.0 | |
| 吉田 亮雅 (立教大) | 2 | 34 | 0 | 17.0 | |
| 嘉本健太郎 (明治大) | 1 | 25 | 0 | 25.0 | |
| 大谷 空渡 (日本大) | 2 | 17 | 0 | 8.5 | |
| 大島 則也 (明治大) | 2 | 12 | 0 | 6.0 | |
| 小田賀優介 (法政大) | 1 | 3 | 0 | 3.0 | |
| 選手名 | タックル数 | サック数 | インターチェプト | | |
| 小西 優 (桃山学院大) | 11 | 0 | 0 | | |
| 比留間豊 (明治大) | 9 | 0 | 0 | | |
| 村井 翔哉 (立命館大) | 7 | 0 | 0 | | |
| 北川 太陽 (関西学院) | 6 | 0 | 0 | | |
| 大沢 海生 (日本大) | 4 | 0 | 0 | | |
| 行友 捷人 (法政大) | 2 | 0 | 0 | | |
| 樋口 斎 (日本大) | 2 | 0 | 0 | | |
| 宇田 正男 (日本大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 浅木 照平 (立命館大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 窪田弦太朗 (早稲田大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 明石 大地 (立命館大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 湯上 弘章 (龍谷大) | 1 | 0 | 0 | | |



GAME REPORT

【第2試合】

- U-19 日本代表、カナダに敗れて2連敗 5位決定戦へ -

現地時間7月18日（水）※日本時間19日、メキシコ合衆国メキシコシティで開催されている第5回IFAF アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会が行われ、U-19 日本代表がU-19 カナダ代表と対戦し、22 対 28のスコアで敗れました。これで2連敗となったU-19 日本代表は現地時間22日に、U-19 オーストラリア代表と5位決定戦を行います。

なお、この試合のU-19 日本代表ゲームMVPには、QB 野沢 研（立命館大学1年）が選ばされました。この日行われた他の試合では、U-19 スウェーデン代表がU-19 オーストラリア代表を19対6、U-19 メキシコ代表がU-19 アメリカ代表を33対6でそれぞれ下しました。

| 現地時間 7月 18 日(水) 13 時 00 分キックオフ | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | TOTAL |
|-----------------------------------|----|----|----|----|-------|
| 日本代表 | 7 | 0 | 8 | 7 | 22 |
| カナダ代表 | 7 | 14 | 7 | 0 | 28 |

ゲームサマリー

2大会ぶりのメダル獲得に向けて負けられない日本は、第1Q 最初のドライブでパントに抑えられた。すると、カナダに65ヤードパントリターンタッチダウンを決められ、日本はいきなり7点を失う苦しい船出となった。しかし日本は、QB 野沢のパスを軸に丁寧にボールを進めると、第1Q8分49秒、ゴール前1ヤードのフォースダウンギャンブルでRB 柴田 健人（日本大学1年）がタッチダウンラン。PAT も成功させて、試合を振り出しに戻した。

7対7の同点に追いつくも、その後第2Q に2つのタッチダウンを許して、14点ビハインドで前半を折り返した日本。それでも、後半最初のカナダのドライブを無得点に抑えると自陣25ヤードからスタートした攻撃で、QB 野沢のパスが面白いように決まる。そして第3Q5分17秒、QB 野沢から大谷 空渡（日本大学1年）へ20ヤードタッチダウンパスがヒットした。しかし、PAT は失敗に終わり、得点は13対21。

勢いに乗る日本は、続くカナダの攻撃を敵陣ゴール前でパントに抑え込むと、ここでカナダがスナップミス。これがセイフティとなり、日本は2点を追加した。6点差に詰め寄った日本だったが、第310分26秒に15ヤードタッチダウンパスを許し15対28とツーザンボゼッション差に広げられた。

そして、試合は勝負の第4Q へ。自陣13ヤードから攻撃を開始した日本は、QB 野沢のパスなどでファーストダウンを更新して敵陣へ侵入した。そして敵陣25ヤードの第3ダウン10ヤード、QB 野沢のパスがインターセプトされるも、カナダの反則があり、逆にゴール前5ヤードへ前進。この好機に、すかさずQB 野沢がWR 糸川 幹人（箕面自由学園高校3年）へタッチダウンパス。PAT も決めて、22対28と再びワンボゼッション差に戻した。

なおも日本は、続くカナダの攻撃をフィールドゴールブロックに抑えて攻撃権を奪取。自陣45ヤードからのドライブに逆転の望みをかけた。フォースダウンギャンブルを成功させてカナダ陣まで侵入した日本だったが、第4ダウン18ヤードのフォースダウンギャンブルが失敗に終わり、勝利への一縷の望みが絶たれた。

敗れた日本は、現地22日に同じく2連敗のU-19 オーストラリア代表と対戦。日本に勝って2連勝の

U-19 カナダ代表は、U-19 アメリカ代表に快勝した開催国U-19 メキシコ代表と金メダルをかけて決勝で激突。3位決定戦は、1勝1敗同士のU-19 アメリカ代表対U-19 スウェーデン代表となった。

■メキシコ戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19 日本代表 山崎 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）



--敗因について

最初のシリーズと最後のシリーズ、自滅するようなミスをしてしまった事、そしてパントのカバーが悪かった事、この2つ。

--フィジカル的に大きな相手に対しどんな準備をして臨んだのか？

相手の方が大きいのは初めから判っている。その体格差を少なくする為にパスを多用することと、ランに関しては低くいく、基本的な事を大事にしている。

--とても良くパスが決まっているように見えたが、それは事前のスカウティングで対策を立てたものなのか、それとも、アジャストなのか。どんな戦略だったのでしょうか？
体格差はどうしようもないので、ライン勝負のパワーフットボールは通用しない。パスプレーに活路を見いだしてやっている。

U-19 日本代表MVP QB 野沢 研（立命館大学1年）

--どういう気持ちで試合に臨んでいたのか、精神的なプレッシャーとはどのように向き合った
のか？

メンタル的には厳しい部分もあったが、WR がフリーになってくれるのを信じて、OL が自分守ってくれる事を信じて臨んでいたので、特に怖いという気持ちはなかった。



■主なスタッツ

| 得点経過 | | | | | | |
|------|-------|-----|-------|---|--|--|
| 1st | 1:45 | CAN | 7-0 | #1 Punt Ret 65yd (#18 kick Good) | | |
| 1st | 8:49 | JPN | 7-7 | #1 柴田 1yd Run (#78 築瀬 kick Good) | | |
| 2nd | 3:25 | CAN | 14-7 | #1 14yd Pass from #4 (#18 kick Good) | | |
| 2nd | 11:42 | CAN | 21-7 | #7 4yd Pass from #4 (#18 kick Good) | | |
| 3rd | 5:17 | JPN | 21-13 | #18 大谷 20yd Pass from #6 野沢 (#78 築瀬 kick No Good) | | |
| 3rd | 2:37 | JPN | 21-15 | Safety Punt snap | | |
| 3rd | 10:26 | CAN | 28-15 | #2 15 Pass from #4 (#18 kick Good) | | |
| 4th | 2:37 | JPN | 28-22 | #80 糸川 5yd Pass from #6 野沢 (#78 築瀬 kick Good) | | |

| 日本 | チーム成績 | カナダ |
|---------|--------------------|--------|
| 54-216 | オフェンス回数-総獲得ヤード数 | 43-259 |
| 20-7 | ラン回数-獲得ヤード数 | 25-191 |
| 209 | パス獲得ヤード数 | 68 |
| 34-20-1 | パス回数-成功回数-被インターセプト | 18-9-0 |
| 16 | ファーストダウン回数 | 13 |
| 6-45 | ペナルティ回数-喪失ヤード数 | 8-90 |
| 0-0 | ファンブル回数-喪失回数 | 0-0 |



競り合いに強さを發揮した#18WR 田窪大渡(早稲田大1年)



要所でシリーズ更新するキャッチを披露した
#80WR 糸川幹人(箕面自由学園高校3年)



メキシコ戦から見違える働きを見せたJPN Def陣 #52DL 伊東 慧太(日本大学2年)・#54DL 宇田 正男(日本大学2年)・#99DL 塙田 弦太朗(日本大学1年)・#44LB 大沢 海生(日本大学1年)・#45DL 樋口 斎(日本大



この試合で圧倒的な存在感をあらわし、勝利まで後一歩と迫った、#6QB 野沢 研(立命館大学1年)
が、日本代表チームMVPに選出される。



| 日本 主な個人成績 | | | | | |
|----------------|---------|-------|----------|----------|------|
| 選手名 | パス試投-成功 | 獲得ヤード | TD | インターフェット | 被サック |
| 野沢 研 (立命館大) | 32-20 | 209 | 3 | 1 | 3 |
| 平尾 渉太 (関西学院大) | 2-0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 選手名 | ラン回数 | 獲得ヤード | TD | 1回平均 | |
| 野沢 研 (立命館大) | 6 | 3 | 0 | 0.5 | |
| 小田賀優介 (法政大) | 5 | 9 | 0 | 1.8 | |
| 柴田 健人 (日本大) | 4 | -1 | 1 | -0.3 | |
| 西山 雄大 (日本大) | 2 | 2 | 0 | 1.0 | |
| 平尾 渉太 (関西学院大) | 2 | -7 | 0 | -3.5 | |
| 庭山 大空 (立命館宇治) | 1 | 1 | 0 | 1.0 | |
| 選手名 | レシーブ回数 | 獲得ヤード | TD | 1回平均 | |
| 糸川 幹人 (箕面自由学園) | 8 | 76 | 1 | 9.5 | |
| 西山 雄大 (日本大) | 3 | 29 | 0 | 9.7 | |
| 大島 則也 (明治大) | 2 | 25 | 0 | 12.5 | |
| 嘉本健太郎 (明治大) | 1 | 24 | 0 | 24.0 | |
| 大谷 空渡 (日本大) | 1 | 20 | 1 | 20.0 | |
| 吉田 亮雅 (立教大) | 1 | 18 | 0 | 18.0 | |
| 田窪 大渡 (早稲田大) | 1 | 11 | 0 | 11.0 | |
| 柴田 健人 (日本大) | 3 | 6 | 0 | 2.0 | |
| 選手名 | タックル数 | サック数 | インターフェット | | |
| 小西 優 (桃山学院大) | 6 | 1 | 0 | | |
| 只松 哲朗 (早稲田大) | 4 | 0 | 0 | | |
| 村井 翔哉 (立命館大) | 3 | 0 | 0 | | |
| 湯上 弘章 (龍谷大) | 3 | 0 | 0 | | |
| 大沢 海生 (日本大) | 3 | 0 | 0 | | |
| 北川 太陽 (関西学院) | 3 | 0 | 0 | | |
| 伊東 慧太 (日本大) | 2 | 0 | 0 | | |
| 明石 大地 (立命館大) | 2 | 0 | 0 | | |
| 光本 周平 (早稲田大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 宇田 正男 (日本大) | 1 | 1 | 0 | | |
| 福山 昂太 (明治大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 魚谷 海仁 (立命館大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 窪田弦太朗 (日本大) | 1 | 0 | 0 | | |
| 浅木 照平 (立命館大) | 1 | 0 | 0 | | |



GAME REPORT

【5位決定戦】

- U-19 日本代表、オーストラリアに快勝で5位 -

現地時間7月22日（日）※日本時間23日、メキシコ合衆国メキシコシティで開催されている第5回IAF アメリカンフットボール U-19世界選手権大会が行われ、U-19 日本代表がU-19 オーストラリア代表と5位決定戦を行い、51対14のスコアで勝利しました。

なお、この試合のU-19日本代表ゲームMVPには、RB 小田賀優介（法政大学1年）が選ばれました。

この日行われた他の試合では、決勝でU-19 カナダ代表がU-19 メキシコ代表を13対7で、3位決定戦がU-19アメリカ代表がU-19スウェーデン代表を61対9でそれぞれ下しました。大会はこの日で閉幕し、最終結果は、1位カナダ、2位メキシコ、3位アメリカ、4位スウェーデン、5位日本、6位オーストラリアとなりました。

| 現地時間 7月 18日(水) 11時00分キックオフ | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | TOTAL |
|-------------------------------|----|----|----|----|-------|
| 日本代表 | 7 | 3 | 0 | 14 | 24 |
| オーストラリア代表 | 0 | 7 | 0 | 0 | 7 |

■オーストラリア戦後の主な日本代表コーチ、選手のコメント

U-19 日本代表 山㟢 隆夫監督（大阪産業大附属高等学校）

--攻撃が効果的に機能していたと思うが？

メキシコへ来て2週間、時差ぼけの問題と、水や食事などによる体調不良といった面が解消されてきたことが大きい。スタッフが良く対応してくれた。そして2試合を見られたので、キッチリスカウティングし準備して臨むことが出来た。

U-19 日本代表MVP RB 小田賀優介（法政大学1年）

--体調はどうか？

お腹が痛くなったり、高地という環境もあり頭痛がしたり、息が苦しかったことがある。コンディショニングとしてジョギングなどをしながら呼吸を整えたりして順応してきた。今日は良いコンディションで臨めた

ゲームサマリー

メキシコ、カナダに連敗してこの日の5位決定戦に挑んだ日本は、第1Q4分37秒に築瀬真史（慶應義塾大学1年）が25ヤードFGを決めて先制点を挙げた。さらに日本は、およそ4分後の第1Q8分50秒にRB 小田賀優介（法政大学1年）の19ヤードTDランを皮切りに、RB 柴田健人（日本大学1年）の16ヤードタッチダウンラン、QB 平尾涉太（関西学院大学1年）からWR 大谷空渡（日本大学1年）への7ヤードタッチダウンパスと立て続けに得点を重ね、前半を23対0で折り返した。

前半でオーストラリアの攻撃を完封した守備陣が後半も奮闘した。第3Q3分11秒にQB 平尾からWR 嘉本健太郎（明治大学2年）の42ヤードタッチダウンパスで加点した日本。同5分1秒には、LB 小西憂（桃山学院大学2年）が35ヤードインターセプトタッチダウンを決めて、リードを37点に広げ

た。

日本はその後、2 本のタッチダウンを許してオーストラリアに追い上げられたが、第4Q6 分3秒にQB 庭山大空（立命館宇治高校2年）とWR 糸川幹人（箕面自由学園高校3年）の高校生コンビで15 ヤードタッチダウンパスをヒット。さらに、同8 分58 秒にRB 柴田がこの日自身2つ目となる61 ヤードタッチダウンランを決めて、オーストラリアの追撃をかわした。

■主なスタッフ

| 得点経過 | | | | | | |
|------|------|-----|-------|--------|--|--|
| 1st | 4:37 | JPN | 3-0 | #78 篠瀬 | 25yd Field Goal | |
| 1st | 8:50 | JPN | 10-0 | #3 小田賀 | 19yd Run (#78 篠瀬 kick Good) | |
| 2nd | 4:26 | JPN | 16-0 | #1 柴田 | 16yd Run (#78 篠瀬 kick No Good) | |
| 2nd | 8:38 | JPN | 23-0 | #18 大谷 | 7yd Pass from #11 平尾 (#27 村田 kick Good) | |
| 3rd | 3:11 | JPN | 30-0 | #14 嘉本 | 42yd Pass from #11 平尾 (#27 村田 kick Good) | |
| 3rd | 5:01 | JPN | 37-0 | #47 小西 | 35yd Pass intercept (#27 村田 kick Good) | |
| 3rd | 8:09 | AUS | 37-7 | #27 | 5yd Pass (#27 Kick Good) | |
| 3rd | 2:37 | AUS | 37-14 | #82 | 61yd Pass from #4 (#27 Kick Good) | |
| 4th | 6:03 | JPN | 44-14 | #80 糸川 | 15yd Pass from #10 西山 (#27 村田 kick Good) | |
| 4th | 8:58 | JPN | 51-14 | #1 柴田 | 61yd Run (#27 村田 kick Good) | |



果敢にギヤングタックルする JAPAN ディフェンス陣



3Q#14 嘉本健太郎(明治大)へのパスで TD で得点を 30-0 と広げる



1Q FG に続き 19 ヤードを走り TD する、#3 小田賀優介（法政大）



日本代表 MVP に選ばれた#3 小田賀優介（法政大）

第5回 アメリカンフットボールU-19世界選手権大会
日本代表選手45名 コーチ・スタッフ18名

■選手(45名)

| No | 背番号 | POS | 名前 | ふりがな | 学年 | 身長 | 体重 | 大学 |
|----|-----|-----|--------|------------|----|-----|-----|------------|
| 1 | 1 | RB | 柴田 健人 | しばた けんと | 1 | 170 | 78 | 日本大学 |
| 2 | 2 | DB | 村井 翔哉 | むらい しょうや | 1 | 168 | 73 | 立命館大学 |
| 3 | 3 | RB | 小田賀 優介 | おだが ゆうすけ | 1 | 175 | 87 | 法政大学 |
| 4 | 4 | LB | 北川 太陽 | きたがわ たいよう | 1 | 182 | 86 | 関西学院大学 |
| 5 | 5 | DB | 明石 大地 | あかし だいち | 2 | 173 | 75 | 立命館大学 |
| 6 | 6 | QB | 野沢 研 | のざわ けん | 1 | 177 | 74 | 立命館大学 |
| 7 | 7 | WR | 鏡味 巧磨 | かがみ たくま | 1 | 165 | 75 | 関西学院大学 |
| 8 | 8 | LB | 湯上 弘章 | ゆかみ ひろあき | 1 | 172 | 86 | 龍谷大学 |
| 9 | 9 | DL | 長内 駿弥 | おさない としや | 1 | 178 | 98 | 法政大学 |
| 10 | 10 | QB | 庭山 大空 | にわやま おおぞら | 2 | 173 | 73 | 立命館宇治高校 |
| 11 | 11 | QB | 平尾 渉太 | ひらお しょうた | 1 | 178 | 77 | 関西学院大学 |
| 12 | 13 | DB | 浅木 照平 | あさき しようへい | 1 | 181 | 84 | 立命館大学 |
| 13 | 14 | WR | 嘉本 健太郎 | かもと けんたろう | 2 | 176 | 70 | 明治大学 |
| 14 | 15 | DB | 福山 昂汰 | ふくやま こうた | 1 | 177 | 73 | 明治大学 |
| 15 | 16 | DB | 行友 捷人 | ゆきとも はやと | 2 | 172 | 74 | 法政大学 |
| 16 | 17 | DB | 多賀 翼 | たが つばさ | 3 | 174 | 74 | 立命館宇治高校 |
| 17 | 18 | WR | 大谷 空渡 | おおたに くうと | 1 | 180 | 72 | 日本大学 |
| 18 | 19 | WR | 田窪 大渡 | たくぼ ひろと | 1 | 182 | 82 | 早稲田大学 |
| 19 | 20 | DB | 魚谷 海仁 | うおたに かいと | 2 | 170 | 75 | 立命館大学 |
| 20 | 21 | LB | 比留間 豊 | ひるま ゆたか | 1 | 170 | 73 | 明治大学 |
| 21 | 22 | RB | 西山 雄大 | にしやま ゆうだい | 1 | 176 | 69 | 日本大学 |
| 22 | 23 | DL | 下村 修平 | しもむら しゅうへい | 1 | 185 | 102 | 立命館大学 |
| 23 | 27 | DB | 村田 幹太 | むらた かんた | 1 | 180 | 77 | 明治大学 |
| 24 | 41 | LB | 藤本 昌也 | ふじもと まさや | 2 | 168 | 87 | 関西大学 |
| 25 | 44 | LB | 大沢 海生 | おおさわ かいせい | 1 | 171 | 83 | 日本大学 |
| 26 | 45 | DL | 樋口 斎 | ひぐち いつき | 1 | 175 | 90 | 日本大学 |
| 27 | 47 | LB | 小西 夢 | こにし ゆう | 2 | 177 | 98 | 桃山学院大学 |
| 28 | 51 | OL | 唐松 星悦 | からまつ しんえ | 2 | 186 | 107 | 東京大学 |
| 29 | 52 | DL | 伊東 慧太 | いとう けいた | 2 | 176 | 101 | 日本大学 |
| 30 | 54 | DL | 宇田 正男 | うだ まさお | 2 | 175 | 103 | 日本大学 |
| 31 | 55 | OL | 牧野 隼大 | まきの しゅんた | 1 | 180 | 119 | 関西学院大学 |
| 32 | 56 | OL | 三隅 悠司 | みすみ ゆうじ | 2 | 186 | 106 | 立教大学 |
| 33 | 57 | OL | 市川 司韻 | いちかわ しいん | 2 | 172 | 109 | 駒澤大学 |
| 34 | 70 | OL | 橋口 慶希 | はしぐち けいき | 1 | 176 | 109 | 早稲田大学 |
| 35 | 75 | OL | 榊原 弥 | さかきばら わたる | 1 | 183 | 115 | 法政大学 |
| 36 | 77 | OL | 松本 鍾太 | まつもと しょうた | 2 | 180 | 110 | 法政大学 |
| 37 | 78 | OL | 築瀬 真史 | やなせ まさし | 1 | 187 | 108 | 慶應義塾大学 |
| 38 | 80 | WR | 糸川 幹人 | いとかわ みきと | 3 | 175 | 78 | 箕面自由学園高校 |
| 39 | 83 | WR | 吉田 亮雅 | よしだ りょうが | 1 | 178 | 74 | 立教大学 |
| 40 | 85 | WR | 小林 陸 | こばやし りく | 3 | 185 | 98 | 大阪産業大学附属高校 |
| 41 | 89 | TE | 大島 則也 | おおしま のりや | 1 | 182 | 86 | 明治大学 |
| 42 | 90 | DL | 光本 周平 | みつもと しゅうへい | 1 | 176 | 103 | 早稲田大学 |
| 43 | 91 | DL | 只松 哲郎 | ただまつ てつろう | 1 | 183 | 95 | 早稲田大学 |
| 44 | 92 | TE | 水谷 蓮 | みずたに れん | 3 | 185 | 104 | 高槻高校 |
| 45 | 99 | DL | 窪田 弦太朗 | くぼた げんたろう | 1 | 179 | 102 | 日本大学 |

■スタッフ(18名)

| 役職 | 氏名 | 読み | 所属 |
|------------------------|--------|-----------|------------|
| 監督 | 山㟢 隆夫 | やまざき たかお | 大阪産業大学附属高校 |
| ヘッドコーチ DLコーチ | 大橋 誠 | おおはし まこと | オービック |
| オフェンスコーディネーター OLコーチ | 大村 和輝 | おおむら かずき | 関西学院大学 |
| RBコーチ | 岸野 公彦 | きしの きみひこ | エレコム神戸 |
| WR/TEコーチ | 小林 孝至 | こばやし たかし | 佼成学園高校 |
| QBコーチ | 須永 恭通 | すなが たかゆき | ノジマ |
| ディフェンスコーディネーター | 池上 祐二 | いけがみ ゆうじ | 立命館大学 |
| LBコーチ | 時本 昌樹 | ときもと まさき | 法政大学 |
| DBコーチ | 中西 隆彦 | なかにし たかひこ | 金沢大学 |
| ドクター | 藤谷 博人 | ふじや ひろと | 専修大学 |
| TRN | 多田 謙吾 | ただ けんご | エレコム神戸 |
| CDM | 山田 晋三 | やまだ しんぞう | JAFA |
| 代表GM | 巽 哲夫 | たつみ てつお | パナソニック |
| 学生M G R | 大保 宏貴 | おおぼ ひろき | 慶應義塾大学 |
| | 鈴木 日向子 | すずき ひなこ | 駒澤大学 |
| 学生T R N | 鈴木 克明 | すずき かつあき | 日本大学 |
| | 中野 喬章 | なかの たかふみ | 日本体育大学 |
| | 大内 玲奈 | おおうち れな | 関西大学 |

「第5回アメリカンフットボールU-19世界選手権大会」大会概要

1. 大会名称： 第5回 IFAF アメリカンフットボール U-19 世界選手権大会
5th IFAF U-19 World Championship in American Football

2. 主 催：国際アメリカンフットボール連盟
(IFAF : International Federation of American Football)

3. 日 程：

【大会日程】 2018年7月14日（土）～7月22日（日）

【遠征日程】 2018年7月10日（火）～7月24日（火）

4. 出場国（予定）

カナダ、アメリカ、メキシコ、日本、オーストラリア、スウェーデン、

5. 派遣選手資格

① 日本国籍を有する者、②16歳以上19歳以下であること（2018年12月31日時点）

■試合結果および順位

最終順位 優勝：カナダ、準優勝：メキシコ、3位：アメリカ、4位：スウェーデン
5位：日本、6位：オーストラリア

■関連ウェブサイト

◇大会公式サイト <http://www.fmfamericano.org.mx/>

◇日本代表公式サイト <http://japan.americanfootball.jp/>

◇国際アメリカンフットボール連盟公式サイト <http://ifaf.org/>

◇日本協会公式サイト <http://americanfootball.jp/>

◇日本協会公式フェイスブック <https://www.facebook.com/JAFA1934/>



主管 公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会

協力 日本学生アメリカンフットボール協会、日本高等学校アメリカンフットボール協会

遠征日程 【遠征】7月10日(火)～【帰国】7月24日(火)

出国便（エアメヒコ航空）

7月10日（火）関西組 08:00 伊丹空港発 JAL3002便
14:25 成田空港発 AM57便
14:10 メキシコシティ空港着

帰国便（エアメヒコ航空）

7月23日（月） 01:55 メキシコシティ空港発 AM58便
7月24日（火） 06:20 成田空港着
東京組 09:40 成田空港発 GK230便
11:10 関西空港発

国内最終練習 6月30日（土）～7月1日（日） 於：関西学院大学第3フィールド

関連ウェブサイト

◇大会公式サイト <http://www.fmfamericano.org.mx/>

◇日本代表公式サイト <http://japan.americanfootball.jp/>

◇国際アメリカンフットボール連盟公式サイト <http://ifaf.org/>

◇日本協会公式サイト <http://americanfootball.jp/>

◇日本協会公式フェイスブック <https://www.facebook.com/JAFA1934/>



日本代表 v s メキシコ代表戦のセレモニーで、在メキシコ合衆国日本大使館の高瀬寧特命全権大使がコイントスを行う



試合後、在メキシコ合衆国日本大使館の高瀬寧特命全権大使を交えての記念撮影



メキシコ商工会議所を訪問し、和久井伸孝日墨協会会長と記念撮影



日本メキシコ学院を訪問し、小学 1 年生から中学 3 年生の日本コースに通う児童や生徒達とフラッグフットボール、キャッチボールを行ない交流した









ご声援、誠に有難うございました。



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会